

科目	単位	時間	履修学年	講師名
成人看護援助論Ⅳ	1	30	2	
ねらい	終末期にある対象及びその家族のニーズを知り、その状況に応じた看護の役割と方法を学ぶ。終末期における全人的苦痛の緩和とその人らしく生きるための看護を理解する。			
回数	授業内容	授業方法		
1回目	12時間 1. 緩和ケアの現状と展望 (第1章)	講義		
2回目	2. 緩和ケアにおけるチームアプローチ (第2章)	講義		
3回目	3. 緩和ケアにおけるコミュニケーション (第3章)	講義		
4回目	4. 緩和ケアにおける倫理的課題 (第4章)	講義		
5回目	5. 医療スタッフのケア (第9章)	講義		
6回目	6. 緩和ケアに関する教育(第10章)	講義		
1回目	18時間 1. 全人的ケアの実践 (第5章)	講義		
2回目	1) 身体的ケア	講義		
3回目	2) 心理的ケア	講義		
4回目	3) 社会的ケア	講義		
5回目	4) スピリチュアルケア	講義		
6回目	2. 緩和ケアの広がり (第6章)	講義		
7回目	3. 臨死期のケア (第7章)	講義		
8回目	4. 家族のケア (第8章).	講義		
9回目(45分)		試験		
15回目(45分)	終講試験			
教科書	系統看護学講座 別巻 緩和ケア (医学書院)			
評価方法	筆記試験 (1時間【45分間】: 100点) : 40点+60点			
備考				